

## ■ 決済ビジネス

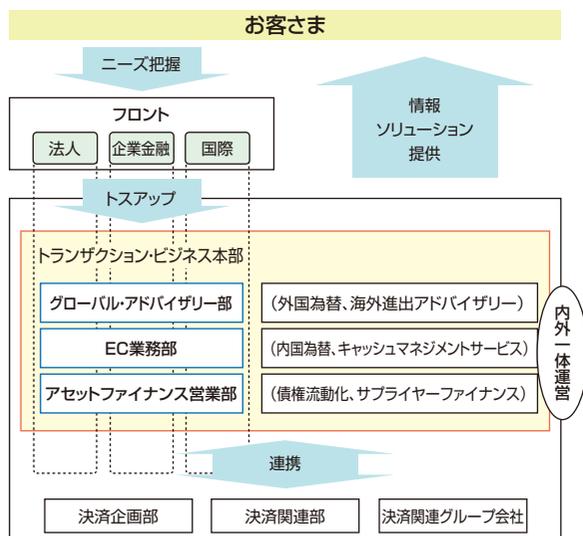
### 決済ビジネス強化に向けた態勢整備

三井住友銀行では、法人のお客さまの決済ニーズおよび付随するファイナンスニーズに対応するため、各部の連携を強化し、より一体的、かつ機動的に商品・サービスをご提供できるように、「トランザクション・ビジネス本部」を設置し、「EC業務部」、「グローバル・アドバイザー部」、「アセットファイナンス営業部」を同本部に集約しています。

また、SMFGおよび三井住友銀行では、決済ビジネスの中長期的かつグループ横断的な視点で、決済ビジネス全般にかかる戦略企画、業務企画機能を強化するとともに、決済制度、決済インフラへの対応力を強化するために、「決済企画部」を設置しています。

今後は、新しい枠組みのもと、国内外のお客さまの決済に関する業務をサポートしていきます。

### 決済ビジネス推進態勢



### お客さまのニーズに対応した決済プロダクトの強化

三井住友銀行では国内外におけるお客さまの決済、資金管理等のニーズに対応するため、決済プロダクトの強化に取り組んでいます。



国内においては、お客さまの日常の資金管理をサポートするために「パソコンバンクWeb21」や外国為替、貿易等の業務をサポートする「Global e-Trade サービス」、海外においては「SMAR&TS」等の法人向けEBの継続的な強化に取り組んでいます。

また、国内外において、付加価値の高い情報提供、企業グループの資金・財務管理をサポートするためのシステム提供、人民元建取引をはじめとする諸通貨取引の整備、サプライチェーンファイナンス等のソリューション拡充や、専門スタッフの配置によるお客さまサポートの強化を進めています。

### 新たなビジネス領域への展開とSMFG一体となった高付加価値サービスの提供

SMFGでは、新しい決済制度である電子記録債権への取り組みを積極的に実施しています。SMBC電子債権記録を活用したファイナンススキームや、今後普及が予想されている「でんさいネット」を活用した新しい決済サービス、ファイナンススキーム提供等に取り組んでいます。

また、決済手段の多様化ニーズをはじめ、お客さまの業務を全般的にサポートするために、決済代行サービスや、「SMFG-BPOサービス」(BPO: Business Process Outsourcing)の強化にグループ一体となって取り組んでいます。

### 各種決済制度、決済インフラへの対応力強化

お客さまへの安全な決済サービス提供のためには、それを支える決済制度や決済インフラへのしっかりとした対応が不可欠です。当行では、SWIFT\*や、日銀ネットの対応に加えて、国債決済期間短縮など、決済に関するリスクの削減にも積極的に取り組んでいます。

\* Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication  
世界210カ国、10,000社超の金融機関が利用する金融通信網を運営する協同組合形式の団体

### Topics

#### ◆ SWIFT利用の資金管理サービス提供準備完了認定を取得

三井住友銀行は、日本に加えアジア9カ国の地域拠点でSWIFTを利用した国際的な事業法人向け資金管理サービスを開始しており、平成24年3月、SWIFTからアジアの銀行で初めてとなるアジア太平洋地域を網羅したBank Readiness認定(準備完了認定)を取得しました。